

現状診断チェックリスト（印刷して使えます）

まずは「抜け漏れ」を可視化。チェック結果が、そのまま優先順位になります。

①設備（安全・電源）

- 落下・転倒の点検基準がある
- 案内設備の固定・保護ができています
- 非常用電源の稼働確認をしている
- 充電・通信手段が複線化されている
- 夜間・停電時の照度が確保できる

②備蓄・期限管理

- 想定人数が定義されている
- 3日分の必要量を算出している
- 配置が"取り出せる導線"になっている
- 期限・在庫の台帳がある
- 入替ルールが定期運用できている
- 管理担当（役割）が決まっている

③トイレ・衛生

- 断水時トイレの数量目安がある
- 汚物の保管・回収手順がある
- 手指衛生・清掃資材が揃っている
- 長時間滞留を想定している
- 使用場所・導線の案内が用意できる

④避難誘導・滞留運用

- 待機場所（ゾーニング）が決まっている
- 災害種別で行動が分かれている
- 職員の初動役割が決まっている
- 帰宅困難者の受入方針がある
- 物資配布の手順がある

⑤情報提供（多重化）

- 放送が使えない前提の代替がある
- 掲示・紙案内のテンプレがある
- 多言語の最低限表記がある
- 混雑時の案内導線がある
- 更新ルール（誤情報防止）がある

⑥連携・訓練

- 行政・警察・消防との連絡網がある
- 周辺施設との役割分担がある
- 年1回以上の訓練をしている
- 夜間/停電/混雑想定での訓練がある
- 訓練後の改善が反映されている